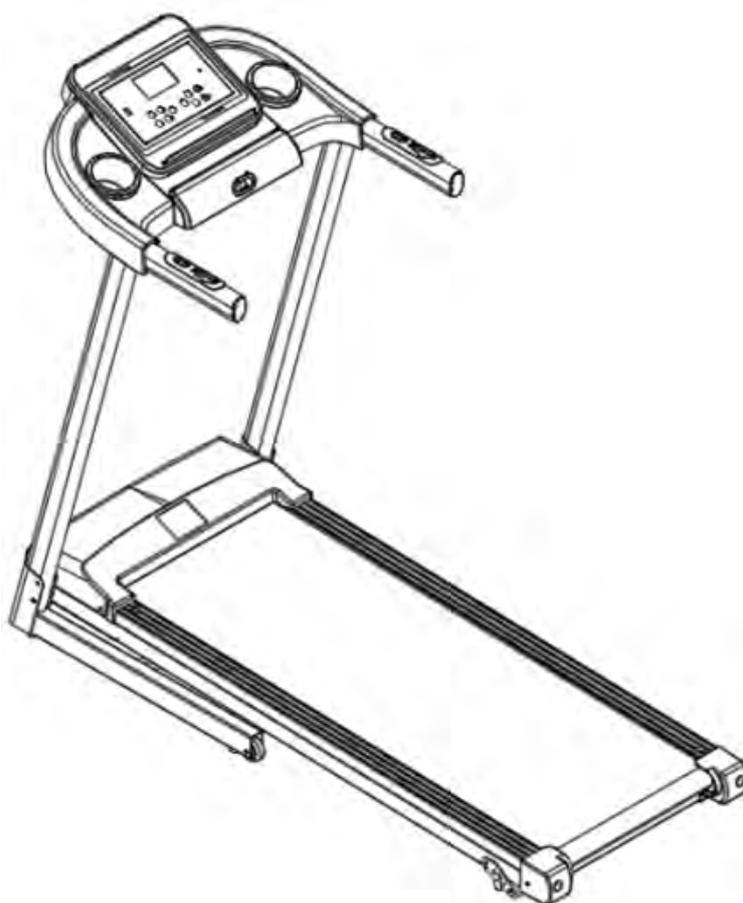




ルームランナー（家庭用）

型番

DK-B4010



DK-B4010

- ◎ ご使用前にこの説明書を最後までお読み頂き、内容をよく理解されてから正しくご使用下さい。
- ◎ 本書の巻末に保証書がついていますので、手近なところに大切に保管して下さい。
- ◎ ご不明な点がある場合その都度読み直して頂き、正しくご使用下さい。
- ◎ 本機は家庭用です。改良のため、予告なくデザイン・仕様を一部変更している場合があります。ご了承下さい。
- ◎ 本機は家庭用として軽頻度の運動向けに開発・設計しています。設計上、トレーニングジム・介護・福祉・教育の現場、ホテル・マンション・オフィスなどの共用設備の使用は想定していません。保証の期間・内容に影響しますので予めご理解下さいますようお願い申し上げます。

※本書に記載されている数値は、実数と多少の差異が生じる場合があります。予めご了承下さい。

安全上の注意事項



誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容



誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性及び物的被害の発生が想定される内容

記載されている内容をよく理解していただき、取扱説明書に従ってご使用下さい。



- 1) 機器を組み立てて使用する前に、取扱説明書の内容をすべてお読みいただくことをお願い致します。機器を正しく設置し、維持し、使用するだけで、安全にトレーニング効果が得られます。
- 2) 使用者が投薬を受けており、治療や心拍数、血圧、およびコレステロールレベルに影響を与える場合、健康や安全性に基づいて医師に相談してから運動を行って下さい。
- 3) 一般的なトレーニングの際に頭痛、胸の圧迫感、不整脈、息切れ、眩暈（めまい）、吐き気の傾向がある方は、事前に体調ならびに機器の状態を医師へ相談のもと、トレーニングを続けるのに障害がないことを確認した場合にのみご利用下さい。
- 4) 無理をせず、軽い負荷から開始して下さい。急激な運動は体に負荷を与えますので、少しでも異常を感じたら運動を中止して医師にご相談下さい。
- 5) お子様の本機で遊ばないようにして下さい。また、使用中はお子様が近づかないようにして下さい。お年寄りの方が運動される場合には、必ず付添の人をつけて下さい。
- 6) お年寄り・体の不自由な方、病気をお持ちの方など（心臓病・高血圧・糖尿病・呼吸器疾患・妊娠中・ペースメーカー・人工心肺装着の方等々）がご使用の場合、かかりつけの医師にご相談下さい。
- 7) 機器を平らな場所に置いて使用し、床やカーペットの表面の損傷を防ぐために保護マットを敷いて下さい。安全のために、訓練機器と障害物の距離は0.5メートル以上離して下さい。
- 8) 各部の機能が正しく作動しているかどうか、ネジ・ボルト等の緩みがないか、使用前に点検して下さい。
- 9) 本機を分解・改造しないで下さい。内部点検や修理をする際には当社までご相談下さい。同時に組み立てやメンテナンスのプロセスでノイズが聞こえた場合、また欠陥部品を見つけた場合は当社までご連絡下さい。
- 10) 使用中に周囲の人が製品及び使用者を押ししたり、引いたりしないで下さい。運動の妨げとなり且つ安全性を損ないケガをする場合があります。
- 11) 同時に2人以上で乗らないで下さい。人間以外の動物・物を載せないで下さい。



使用上の注意事項

- 1) トレーニングの前後にストレッチ（準備体操）を行って下さい。（トレーニングをするたびに、筋肉はほんの少し傷みます。そのままにしておくと筋肉が縮み、その状態で数年間スポーツを行うと、筋肉が堅い弦の様に簡単に切れやすくなります。ストレッチは、必ずトレーニング前後に行う習慣をつけましょう。）
- 2) 食後のトレーニングは差し控えて下さい。（本来胃に流れるべき血液が流れにくくなり、消化に影響を与えます）食後2時間位あけてトレーニングを開始して下さい。
- 3) 本機のご使用時は必ず運動靴を履き、駆動部に巻き込まれる恐れのない（紐等のない）服装でご使用下さい。
- 4) 正しい使用方法以外でのトレーニングはおやめ下さい。
- 5) 本機は家庭用のトレーニング機器として開発しています。それ以外の用途で使用なさないで下さい。
- 6) 異物を製品内部に入れないで下さい。異物が入ったまま使用すると、故障の原因となります。
- 7) 体重 %\$ \$Kq を超える方はご使用にならないで下さい。
- 8) 100分以上の連続しての使用はなさないで下さい。1日合計6時間以上の使用はなさないで下さい。

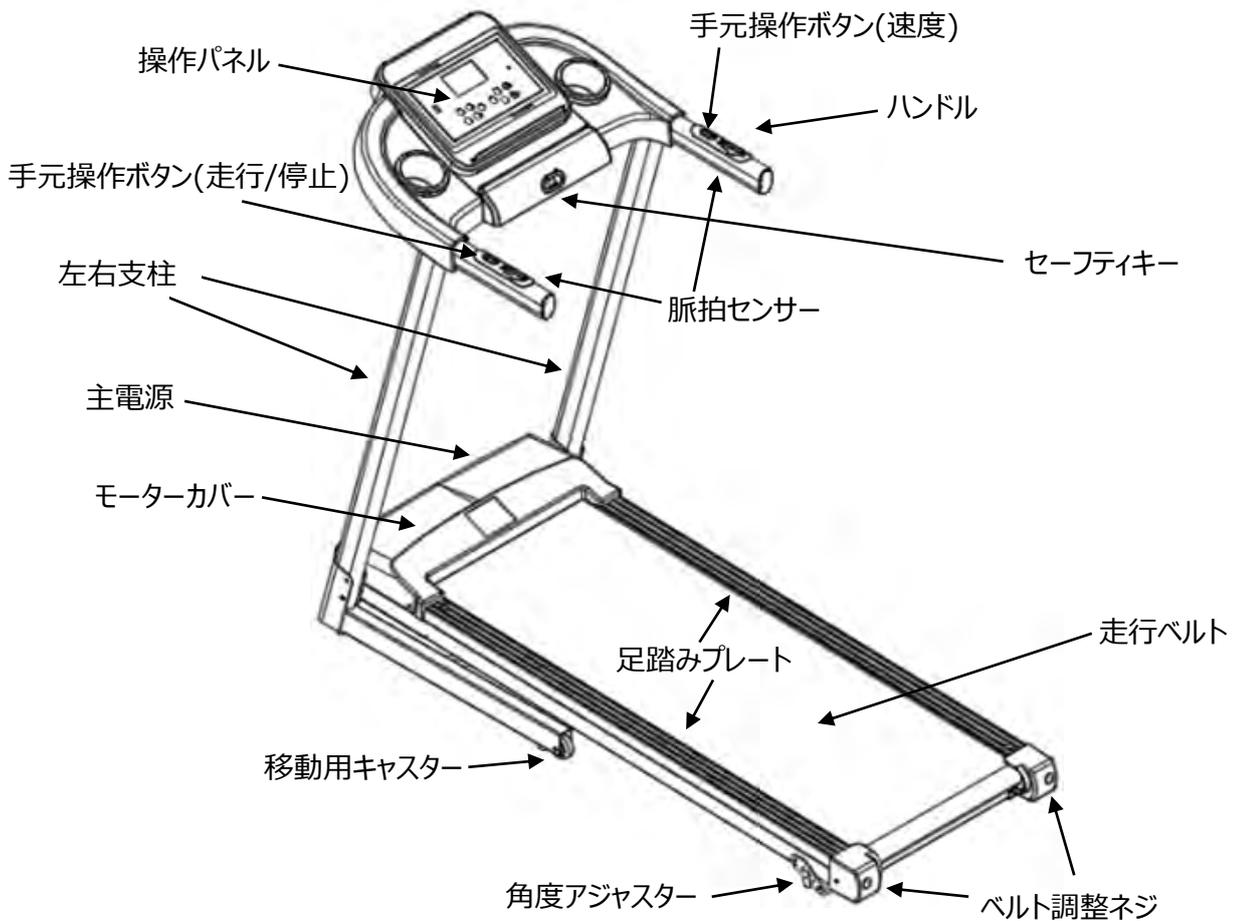
保管上の注意事項

- 1) 幼児が触らないよう安全に管理して下さい。
- 2) ご使用前には結合部分のガタつきや、緩み等がないよう確認して下さい。
- 3) 使用中の運動が十分確保できる水平な床面に設置して下さい。
- 4) 使用場所の周囲に物を置くと、思いがけないケガや事故につながりますので、ご注意下さい。
- 5) 組立ての際に、床を傷つける場合があります。布やカーペットなどを敷くなど、養生で床を保護して下さい。
- 6) 本機ご使用にあたっては、床保護を目的にマットの使用をお勧めします。
- 7) 本機を廃棄する場合は、各自治体の推奨する方法に従って処理して下さい。
- 8) 走行ベルト・外装部品等当社の定める消耗品は、ご購入日より3ヶ月以上経過した場合、有償となります。
- 9) 次の場所に設置、保管しないで下さい。（サビの発生、メーター等の故障の原因となります）
 - ・直射日光、暖房設備、火気のために著しく温度が上昇する場所
 - ・屋外の設備や浴室付近等の湿気の多い場所
 - ・磁気や電氣的雑音の発生しやすいものの近く

仕様

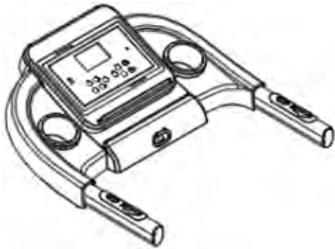
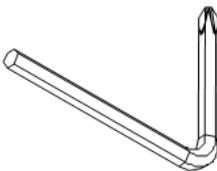
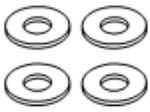
品名	ルームランナー（家庭用）	品番	DK-B4010
材質構造	スチールパイプ・ABC樹脂・ウレタン等	使用体重制限	100kg
電源	AC100V 50～60HZ	速度	1～12km/h
DC モーター(馬力)	0.75hp(平均) 2.2hp(最大)	傾斜(方式)	3段階(手動式)
本体サイズ	61cm×137cm×115cm	走行ベルトサイズ	40cm×110cm
折り畳みサイズ	61cm×75cm×121cm	製品重量	33kg
梱包サイズ	67cm×142cm×23cm	梱包重量	38kg
製造国	中国		

各部名称



部品の一覧表

ワンポイント この表には主要なパーツのみ掲載しています。 Step1～順番に進めながらご確認下さい。

 <p>本体</p>		 <p>パネル</p>		
 <p>セーフティキー</p>	 <p>6MM六角レンチ</p>	 <p>#D M8*16ボルト x6本</p>	 <p>#E M8ワッシャー x4個</p>	 <p>#F M8*40ボルト x2本</p>

組立手順

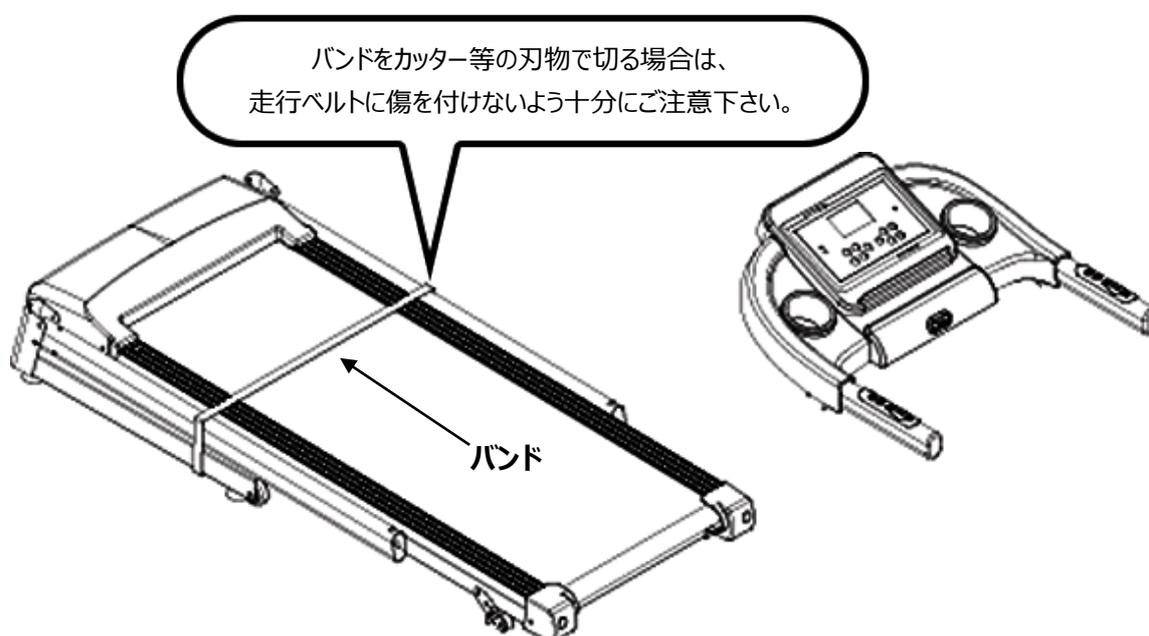
! 組立を始める前の注意点

- 作業を開始する前に、部品と必要な道具が全部揃っているかご確認下さい。
※取り付け先の部位に予め仮止めされている場合もございます。見つからない場合は併せてご確認下さい。
- 開梱及び組立時は、必ず大人2名以上で行って下さい。
- 広い場所を確保した上で作業を始めて下さい。
- 本機を箱から出す場合、天地（上下）に注意して開梱し本体が床面と水平になる状態で組立を行って下さい。
- Step 1 から順番に組み立てて下さい。
※各パーツにボルト類が仮止めされている場合がある為です。
※出荷時点で仮止めしたボルト類が梱包資材内に欠落している場合がございます。
梱包の内側もご確認下さいますようお願い致します。
- 本体に仮止めしてあるネジ類を外す必要がある場合は、その部位の作業工程の直前に外して下さい。先に外してしまうと、どの部分のネジなのか判別がつきにくい場合がありますのでご注意下さい。

Step1 ▶ 組み立て準備

本体を箱から出して、平らな地面に設置してからバンドを外して下さい。

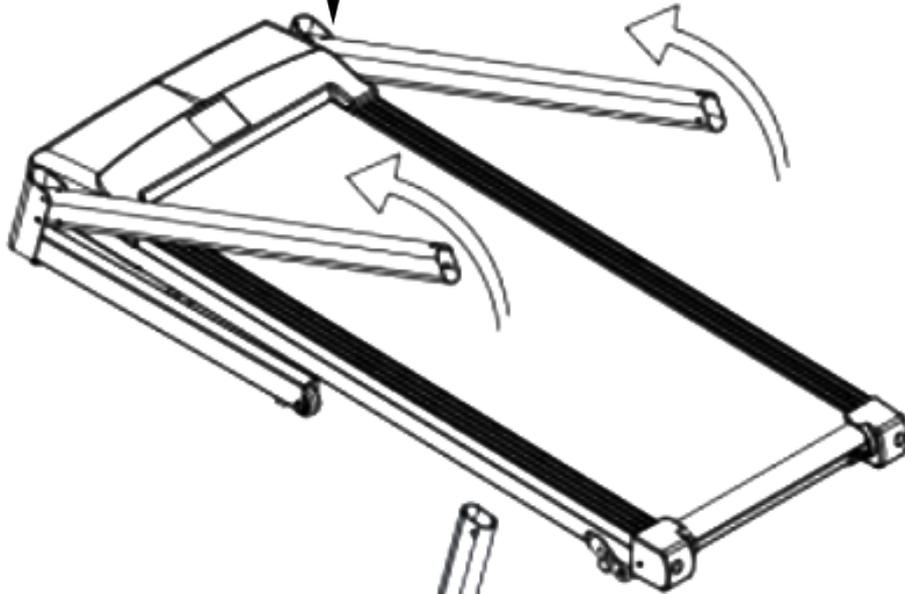
※先にバンドを外してしまうと、土台部分が跳ね上がり大変危険ですのでご注意下さい。



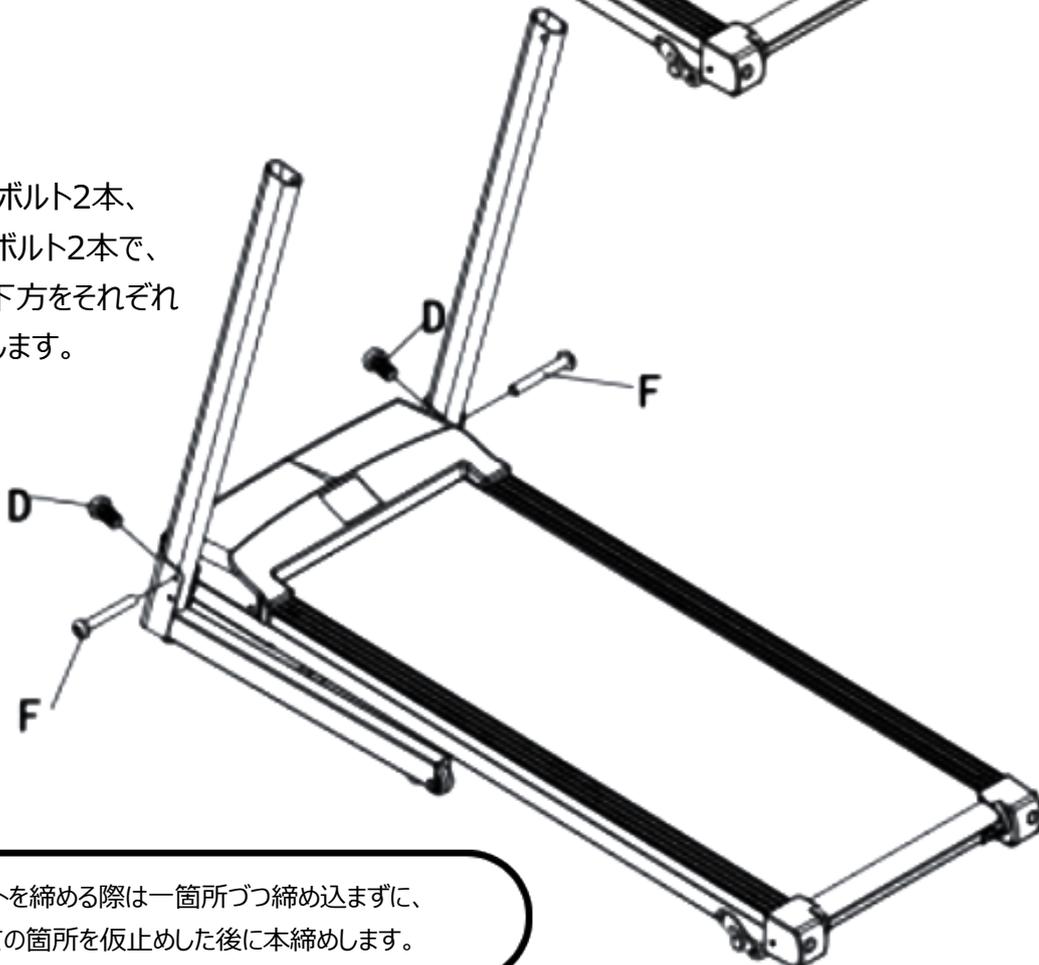
Step2 ▶ 支柱の組立て

左右支柱を矢印方向へ引き起こします。

右側支柱の下側部分にメインコードが入っています。
支柱を起こす際、コードを傷つけないようご注意ください。
※誤動作やパネルが点灯しなくなる不具合の原因となります。



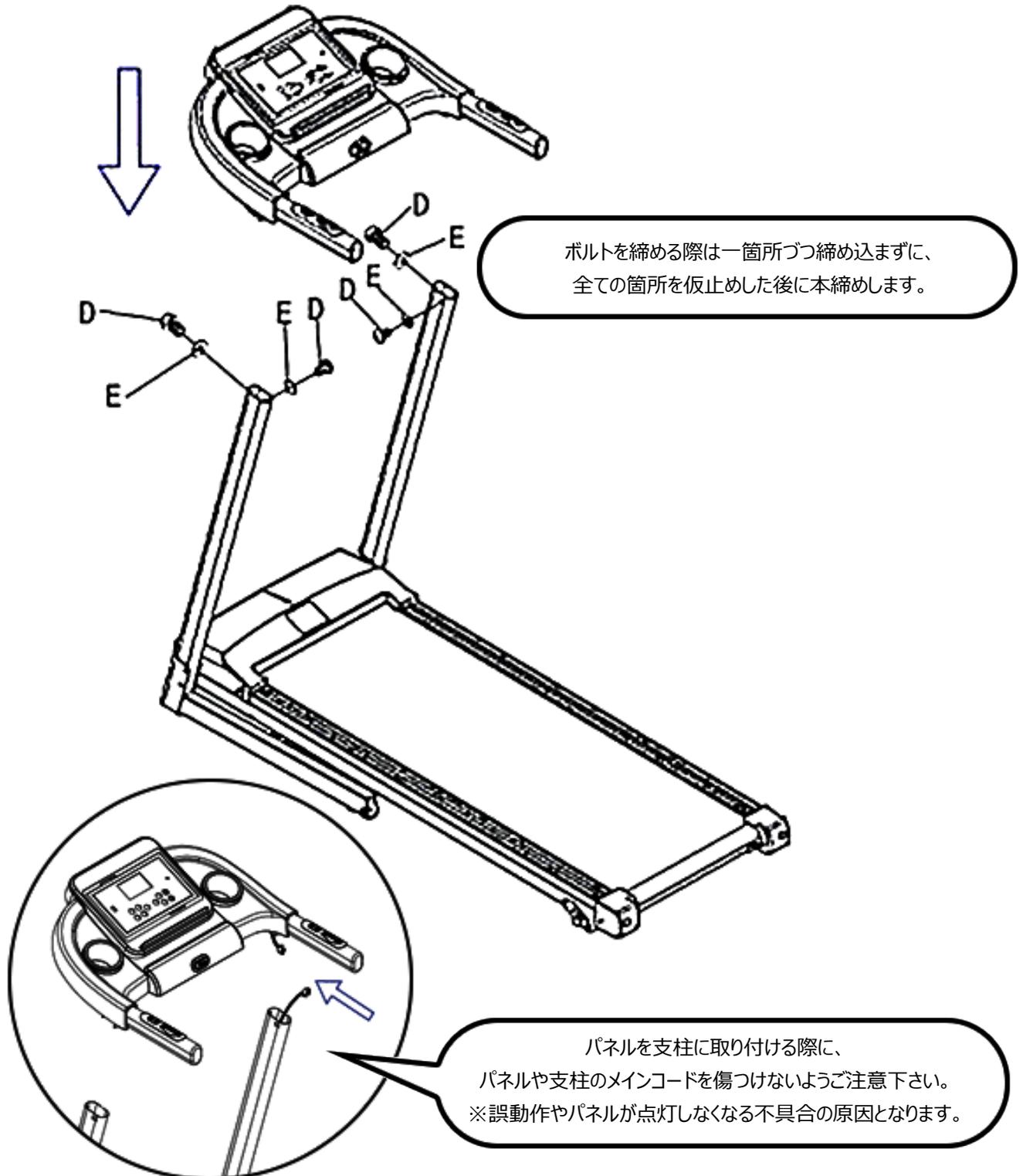
#D M8*16ボルト2本、
#F M8*40ボルト2本で、
左右支柱の下方をそれぞれ
仮止め固定します。



ボルトを締める際は一箇所ずつ締め込まずに、
全ての箇所を仮止めした後に本締めします。

Step3 ▶ パネルの固定

右側支柱内のメインコードとパネルから出ているメインコードをコネクター接続します。
接続したメインコードを支柱内に収め、パネルを左右支柱に差し込んで、
#D M8*16ボルト4本と#E M8ワッシャー4枚にて仮止め固定します。

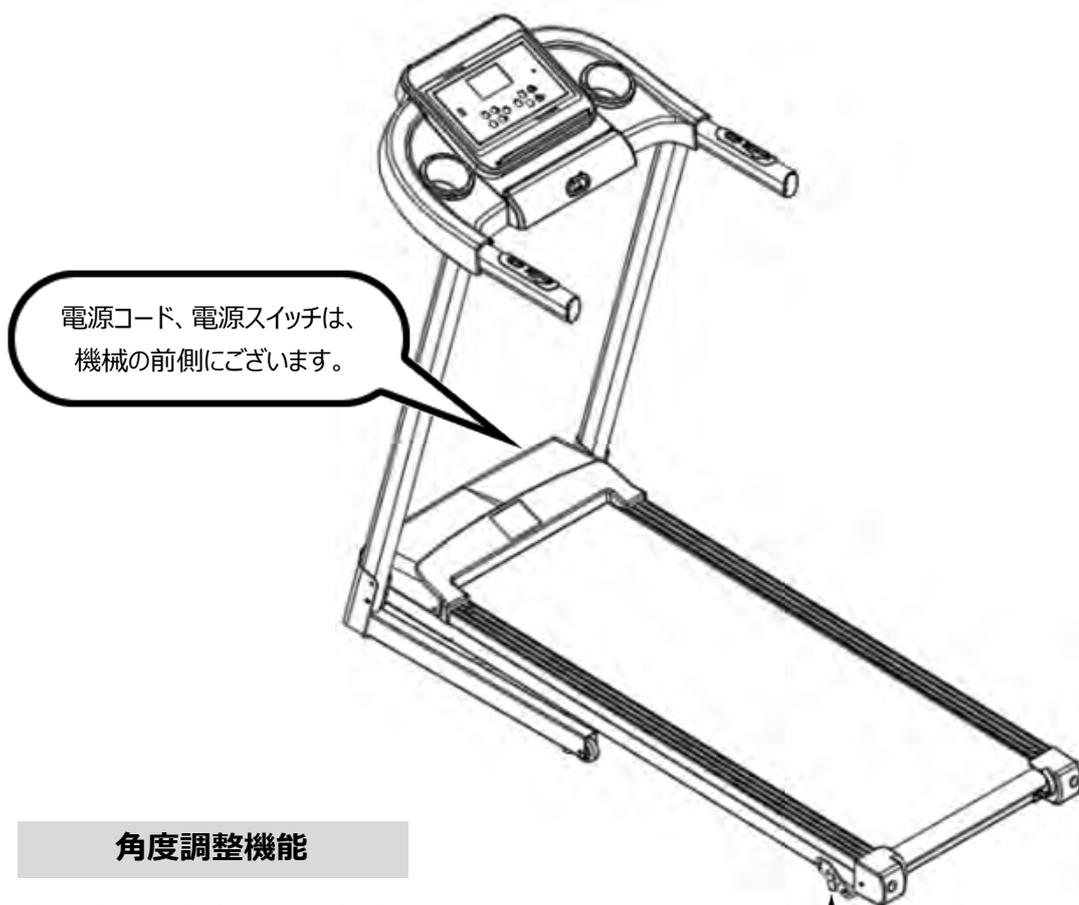


最後に、全ての仮止めのボルトを本締めで締めます。

Step5 ▶ 最終確認事項

ボルトの緩みやガタツキの無いことを確認して組立は完了となります。

電源コードをコンセントに差し込み電源スイッチを入れて、セーフティキーをパネルの定位置に装着して稼働確認を行ってください。

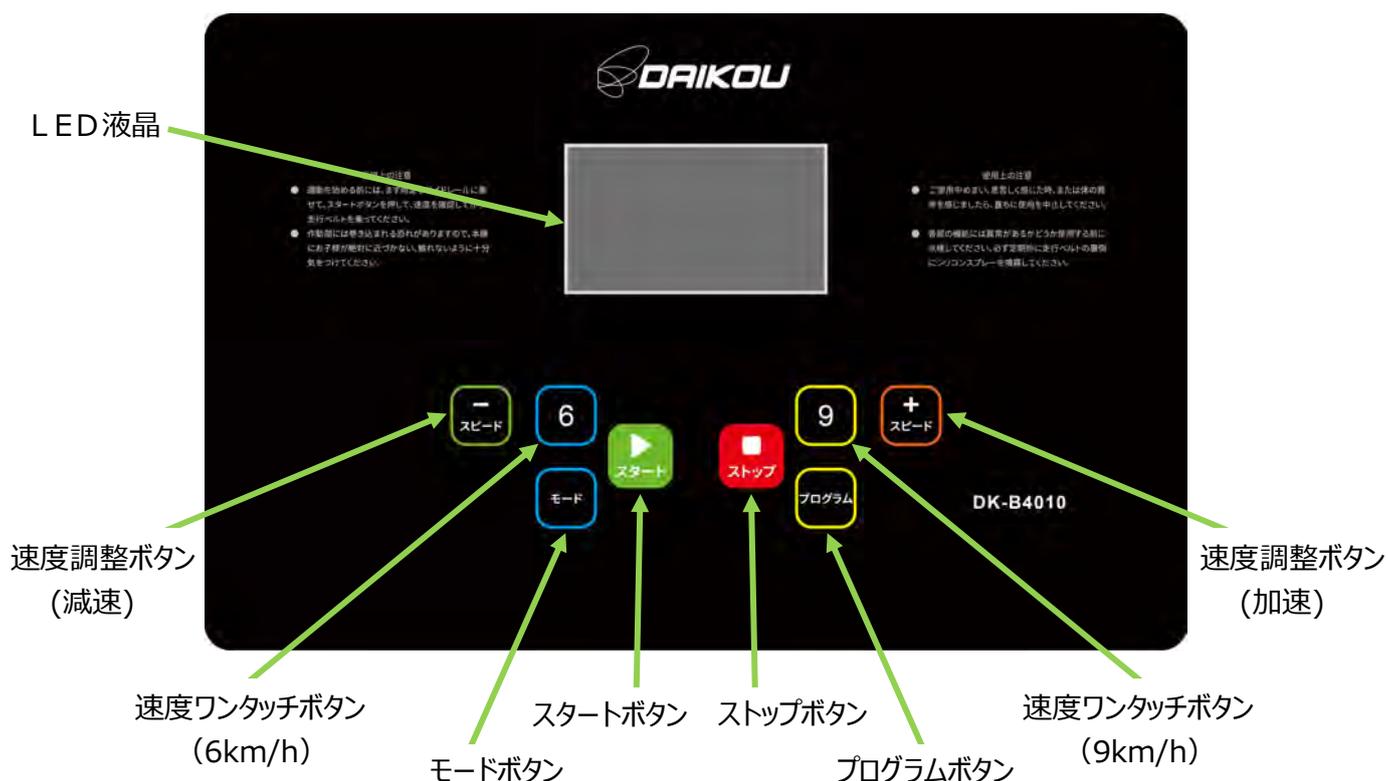


角度調整機能

本体後部の左右の傾斜角度アジャスターピンをそれぞれの穴に差し替える事で、傾斜角度を3段階調整出来ます。

ピンの位置は必ず左右同じ
ところにさすようにして下さい。

パネルの使用法



LED液晶表示の説明

SPEED (速度)	運動中の速度を表示します。設定モードではP01～P12、FATを表示します。
TIME (時間)	経過時間を表示します。
DIST (距離)	経過距離を表示します。FAT設定モードではF1～F5を表示します。
CAL (カロリー)	消費カロリーを表示します。
PULSE (簡易心拍数)	左右ハンドルの脈拍センサーを握ることにより簡易的に心拍数を表示します。

--

"▶" (スタート)	運動を開始します。
"■" (ストップ)	停止します。
"+・-" (スピード)	走行ベルトの速度の加速・減速や、目標数値の選択入力時に使用します。
"P" (プログラム)	プログラムP01～P12を選択入力します。
"M" (モード)	各目標設定プログラム (時間・距離・カロリー) を選択入力します。
"6・9" (速度ワンタッチボタン)	作動中に押すと、走行ベルトの速度が押したボタンの数字の速度に変化します。



セーフティキーをパネルの所定の位置に装着して下さい。セーフティキーより伸びている紐の先端にあるクリップを衣服に付け、外れないことを確認し、紐がたるみ過ぎないように結ぶなどして調節して下さい。スピードについていけない時など紐のたるみがなくなってセーフティキーが外れると、走行ベルトが自動的に止まり、パネル液晶に“E7”が表示されて警告音が鳴り、全ての動作が停止します。セーフティキーを元の位置に戻すと、動作可能な状態に戻ります。

起動方法と終了方法

本機のご使用時は必ず運動靴を履き、駆動部に巻き込まれる恐れのない（紐等のない）服装でご使用下さい。

起動方法

1. 本機を折り畳んでいる場合、安全を確保し、折り畳みを解除してトレーニングできる状態にして下さい。
2. 電源コードをコンセントの奥までしっかりと差し込んで下さい。

※延長コード等、中継させるものをなるべく間に入れずに、直接コンセントに差し込んで下さい。

3. 電源スイッチを入れて下さい。
4. セーフティキーをパネルの所定の位置に装着して下さい。
5. ベルト脇の左右の足踏みプレート中央部に乗り、セーフティキーの紐についているクリップを衣服に取り付けて下さい。
6. パネルの操作方法を参考に、必要に応じてお好みのトレーニング設定をして下さい。
7. スタートボタンを押して下さい。走行ベルトが動き出します。
8. 走行ベルトに足を乗せてトレーニングを始めて下さい。

※走行ベルトに乗った状態でスタートボタンを押さないで下さい。必ず足踏みプレートに足を乗せた状態でスタートボタンを押し、走行ベルトが動いているのを確認してから走行ベルトに足を乗せて下さい。

終了方法

1. トレーニングを終了する場合、安全のためベルト脇の左右足踏みプレートに乗って下さい。
2. ストップボタンを押して、走行ベルトを停止させて下さい。

※セーフティキーを外して停止させないで下さい。不必要な緊急停止は故障の原因 になります。

3. 安全に本機より降り、足元のメインスイッチを切って、コンセントから電源コードを抜いて下さい。

※電源を入れた状態で放置しますと故障の原因 あります。
運動終了後はすみやかにスイッチを切り、コンセントから電源コードを抜くようにして下さい。

省電力モード

スタンバイ状態で10分間いずれのボタンも押されない場合、システムは自動的に省電力モードに移行しLED液晶画面の表示を閉じます。

省電力モード中にいずれかのボタンを押すか、セーフティキーをリセットすると、システムが再開されます。

時間・距離・カロリーの目標設定プログラムとP01～P12の速度変化プログラムを選択することが出来ます。

目標時間設定プログラム

1. 運動前にM<モード> ボタンを 1 回押すと、[TIME] 欄に「10 : 00」が点滅します。
2. 「+」「-」<スピード> ボタンを押して目標時間を設定します。
※目標時間は「% 」、「**5:00(5分)～99:00(99分)の範囲**」で設定頂けます。
3. スタートボタンを押すと走行ベルトが動き出し、目標数値がカウントダウンしてゆきます。
4. 設定した目標数値が "0" になると走行ベルトが停止します。

目標

1. 運動前にM<モード> ボタンを 2 回押すと、[DIST.] 欄に「1.0」が点滅します。
2. 「+」「-」<スピード> ボタンを押して目標距離を設定します。
※目標距離は「%\$_a 」、「%\$~99"-_a 」で設定頂けます。
3. スタートボタンを押すと走行ベルトが動き出し、目標数値がカウントダウンしてゆきます。
4. 設定した目標数値が "0" になると走行ベルトが停止します。

目標

1. 運動前にM<モード> ボタンを 3 回押すと、[CAL.] 欄に「50」が点滅します。
2. 「+」「-」<スピード> ボタンを押して目標カロリー値を設定します。
※目標カロリー値は「%\$ 」、「&\$~990の範囲」で設定頂けます。
3. スタートボタンを押すと走行ベルトが動き出し、目標数値がカウントダウンしてゆきます。
4. 設定した目標数値が "0" になると走行ベルトが停止します。

時間の経過で速度が10段階変化する全12パターンの速度変化プログラムが内蔵されています。

■ 設定方法

1. P<プログラム> ボタンを押すごとに P01～P12 が順に表示されますので、下図<速度変化プログラム内容>を参考にお好みのプログラムを選択します。
2. 「TIME」の欄に初期値「10:00」が表示されます。「+」「-」<スピード> ボタンで時間数値を増減させて、お好みの目標時間に設定して下さい。
3. スタートボタンを押すと約3秒で走行ベルトが動き出します。
4. 設定した目標時間内で走行ベルトの速度が10段階変化します。1段階毎の時間は設定した目標時間を10分割した時間が割り当てられます。
※【例】 目標時間30分の場合、3分経過する毎に次の段階に移行します。
5. 各段階が終わる毎に「ピッ」というピープ音が鳴り、全段階終わると走行ベルトが自動停止します。

※本プログラム中も、パネルまたはハンドルのスピードボタンを押して速度調整することができます。

※本プログラム中、スタートボタンを1回押すと一時停止します。ストップボタンを押すとリセットされます。

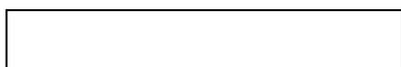
※速度が自動で変化しますので、速度の変化時には充分に気をつけるように心がけて下さい。

※本プログラム中にスピードボタンで速度調整した場合も、速度調整時の段階が終わるとプログラム通りの次の変化段階に移行してしまいますのでご注意ください。

速度(km/h) プログラム	#%\$									
	%	&	'	()	*	+	,	-	%%
D%	3	3	8	5	5	6	3	4	4	3
D&	3	3	4	4	5	6	5	8	8	4
D'	2	4	8	8	4	4	5	2	3	2
D(3	3	5	4	2	6	5	4	3	3
D)	3	8	2	4	5	5	2	5	5	4
D*	2	8	5	4	4	3	2	3	3	3
D+	2	4	5	8	5	8	5	3	2	2
D,	2	4	4	4	5	6	5	3	8	2
D-	2	4	5	5	8	5	8	3	3	2
D%%	2	5	5	5	3	2	5	2	4	3
D%%&	2	5	8	3	5	3	2	5	3	2
D%&	2	3	5	8	4	8	3	8	5	3

各数値の表示範囲

	初期	初期設定値	設定範囲	表示範囲
時間(分:秒)	0:00	10:00	5:00-99:59	0:00-99:59
速度(km/h)	0.0	1.0	1.0-12.0	1.0-12.0
距離(km)	0.0	1.0	1.0-99.9	0.0-99.9
心拍数	P	/	/	50-200
カロリー(kcal)	0.0	50	20-990	0-990



簡易体脂肪計ですので、目安として参考程度にご利用ください。

設定方法

1. P<プログラム> ボタンを押し、「FAT」を選択します。
2. M<モード> ボタンを押し毎に「F1」～「F5」が表示されますので（F5時にMボタンを押すとF1に戻ります）、「F1」～「F4」表示時に「+」「-」<スピード> ボタンで数値を増減させて、下図を参考に各項目に必要な値を入力します。

データ			
設定項目			
: %	1	1-2	1=男性 2=女性
: &	25	10-99	単位 = 歳
: ' : 身長	170	100-200	単位 = cm
: (65	20-150	単位 = kg

3. 各項目の入力が完了したら「F5」を表示させて、左右ハンドルの脈拍センサーを両手でしっかり握ります。
4. 測定が開始され、約3秒ほどで体脂肪値（FAT）が表示されます。

F5 : 測定結果		
体脂肪指数(BMI)	参考結果	注意事項
≤19	やや痩せぎみ	あくまでも簡易測定であることをご理解願います。様々な要素に影響を受ける為、不正確な数値が表示される場合がございます。正確な測定をお望みの場合はお客様にて別途専用器具をご用意いただき、測定をお願いいたします。
=20-25	理想範囲	
=26-29	やや太りぎみ	
≥30	肥満可能性	

保守運用について

走行ベルトの調整

本機は走行ベルト（以下：ベルト）を前後のローラーで引き、張りを持たせることで走行をさせています。現在ご使用になっている状態で足踏みプレート等にあたっていない場合には、現状で使用をお続けになって下さい。もし、下記のような症状があった場合に、ベルトの調整を行うことをお勧めいたします。

ベルト調整の注意点

- ベルト調整の際、六角レンチで調整ネジを回しすぎると急激にベルトが偏りベルトを破損する恐れがあります。調整ネジは少しずつ回して、慎重に調整を行って下さい。
- ベルトをプレートに擦ってキズをつけないように注意して行って下さい。

使用中、足を踏み込むと止まってしまう／空滑りをしてしまう

1. 右調整ネジに六角レンチを差込右回しで90度回して下さい。
2. 左調整ネジに六角レンチを差込右回しで90度回して下さい。
3. 左右の調整後、一旦、ベルトを止め、自身で走行してみて止まり/すべりがいいかを確認して下さい。
4. まだ、止まり/すべりがある場合には上記1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

ベルトが持ち上がらない（縦に指2本程度入らない）場合

1. 右調整ネジに六角レンチを差込左回しで90度回して下さい。
2. 左調整ネジに六角レンチを差込左回しで90度回して下さい。
3. ベルト中ほどの左右どちらか片方の端をつまみ上げ、指2本程度持ち上がる状態に調節できたか確認して下さい。
4. まだベルトが持ち上がらない場合は上記1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

ベルトが右側の足踏みプレート等にぶつかっている場合

1. 本機を起動させクイックプログラムでスタートをし、スピードを 3～5km/h まで上げて下さい。
2. 右調整ネジに六角レンチを差込ベルトの寄りに応じて右回しに回して下さい。

※調整ネジを回しすぎますとベルトが急激に反対方向に寄りますので、調整ネジは少しずつ回して下さい。

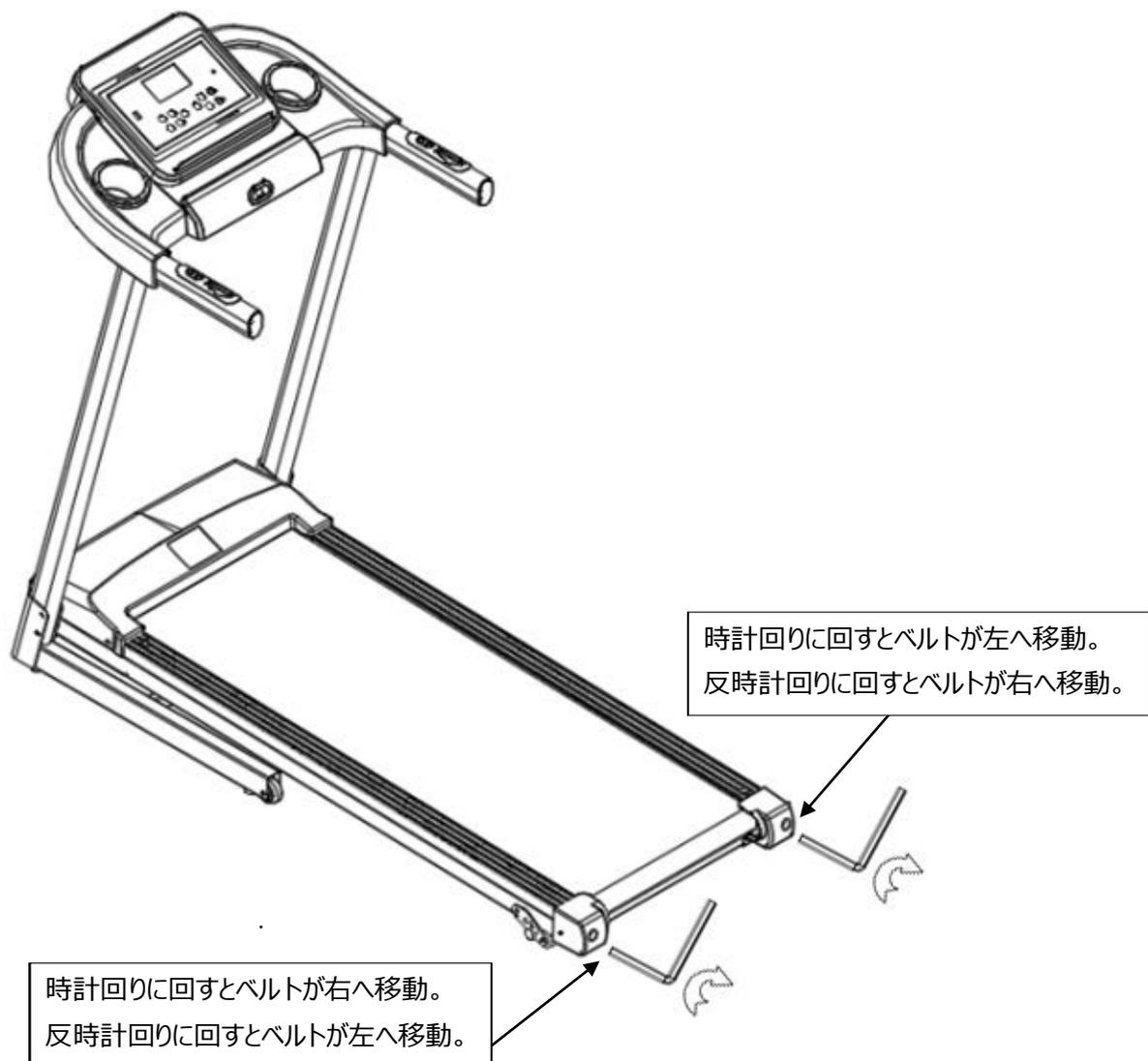
3. ベルトが徐々に左に寄ってきていることを確認して下さい。
4. まだベルトが右に寄っている場合は、1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。
5. ベルトが左右の足踏みプレートに触れずに回転をしていれば調整は完了です。

ベルトが左側の足踏みプレート等にぶつかっている場合

1. 本機を起動させクイックプログラムでスタートをし、スピードを 3～5km/h まで上げて下さい。
2. 左調整ネジに六角レンチを差込ベルトの寄りに応じて右回しに回して下さい。

※調整ネジを回しすぎますとベルトが急激に反対方向に寄りますので、調整ネジは少しずつ回して下さい。

3. ベルトが徐々に右に寄ってきていることを確認して下さい。
4. まだベルトが左に寄っている場合は、1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。
5. ベルトが左右の足踏みプレートに触れずに回転をしていれば調整は完了です。





本製品の走行板（走行ベルト下の板）には工場出荷時に潤滑剤が塗布されておりますが、ご購入後の時間経過やご使用頻度に伴いベルトの裏側やボード上に埃が溜まる等の原因で摩擦が増大して行きます。そのままにされますと、ベルトの消耗が激しくなる・モーターの寿命が短くなるなどの現象がおき、本来の性能を維持できなくなりますので、定期的な清掃と潤滑剤の噴霧が必要となります。

潤滑剤使用の目安

■ご購入後の初期段階の噴霧目安

工場出荷時に潤滑剤が走行板に塗られています。ご使用により効果が徐々に無くなってきます。

ご購入後、シリコンスプレーをホームセンター等でご購入頂き、1ヶ月くらい経過しましたら噴霧するようにして下さい。

■上記以後の噴霧目安

2週間以上ご使用のない場合は、運動前に走行面等のホコリを取り除いてから、必ず噴霧して下さい。

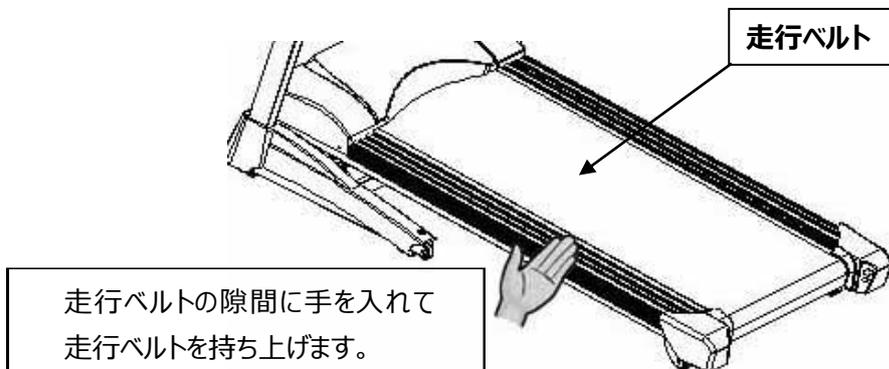
最低でも1ヶ月に1度以上は噴霧することを心がけて下さい。

使用頻度が多い場合には回数を多めにするようにして下さい。

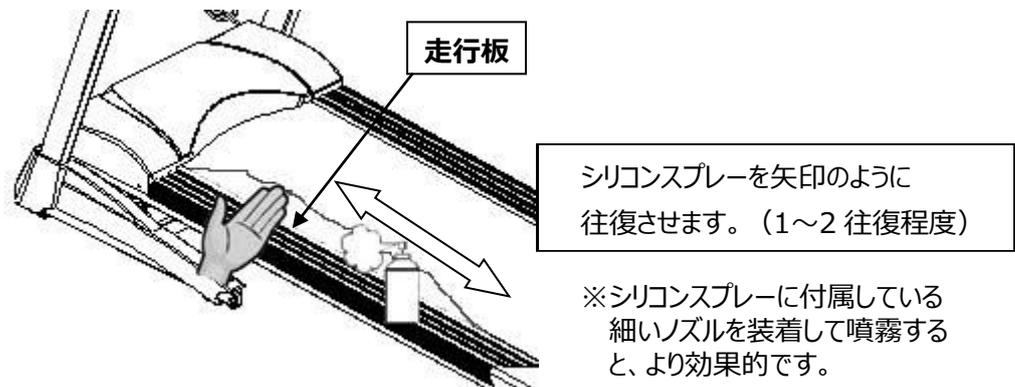
潤滑剤の噴霧方法

走行ベルトの中ほどの左右どちらか片側の端をつまみ上げ、ボード（走行板）全体に噴霧して下さい。

%" **走行ベルトの片側を持ち上げます。**



&" **持ち上げた状態で、シリコンスプレーを走行板に噴霧します。**

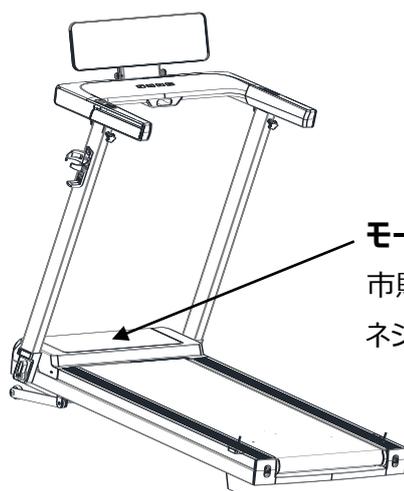


' " **反対側からも同じように行います。**

! シリコンスプレー噴霧の際の注意点

- シリコンスプレーのつけすぎにはご注意ください。
※過剰に塗布された場合、ベルトが滑って空回りする等、ベルトの作動にかえて悪影響を与えます。
- シリコンスプレーを噴霧する際は、本体、溝等に溜まっているホコリを取り除いてから実施するようにして下さい。
- シリコンスプレーの噴霧は、走行ベルトを停止させた状態で行って下さい。
- 走行ベルト表面には絶対にシリコンスプレーをかけないで下さい。転倒の原因となります。
- 前後のローラーにかからないようにして下さい。
- 走行ベルトの潤滑油には、必ずシリコンスプレーをご使用下さい。
※KURE556 等、機械油を潤滑油代わりに使用しますと、油分でベタつきかえて滑りを悪くします。

電動ルームランナーはモーターを回転させて稼働させるため、使用している内にモーターカバー内にホコリを集めてしまいます。 1年に1回以上はモーターカバーを開けて、モーターカバー内のほこり等を掃除するようにして下さい。



モーターカバー

市販のドライバーでカバーを固定しているネジを取り外し、カバーを開けて下さい。

! モーターカバー内清掃の注意点

- 清掃をする際は電源コードをコンセントから抜いた状態で行って下さい。抜かないで行うと思わぬ事故につながります。
- ほこりを溜めたままにしていると、モーターやコード類が熱を逃がせなくなり、モーターを始めとした各部品への負荷が高くなって製品寿命を縮める要因となります。

その他 製品メンテナンス

- 製品の美観を保つために、汚れや汗などは中性洗剤を薄めて含ませた布で拭き、その後乾いた布等でふき取って下さい。
- 水をかけたり、シンナー・ベンジンなどで拭かないで下さい。
- パネルの汚れや汗は、乾いた布で拭き取って下さい。
- ペダルの緩みなど、マシン各部位のボルト類に緩みが無いか常にチェックして、正常を保って下さい。

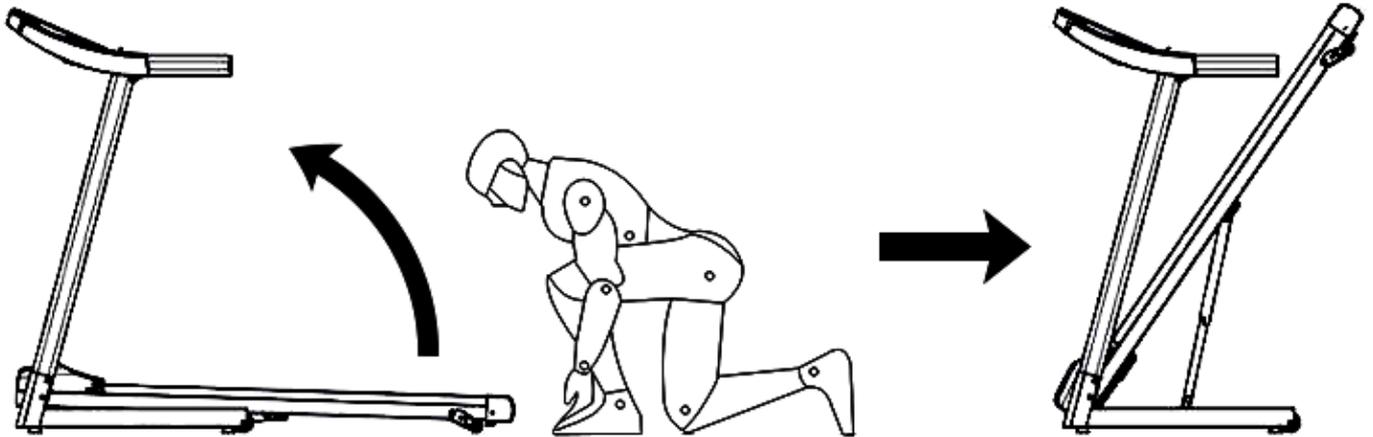
折りたたみと折りたたみの解除

! 折りたたみと折りたたみの解除の注意点

- 本機の折りたたみ及び折りたたみの解除を行う際は、必ず床面が平坦であり、本機が障害物に乗り上げていないことをご確認下さい。本機の水平が保たれていない状態で行うと、本機が倒れて破損やけがを負う恐れがあります。

折りたたみ方法

1. 本機が平らな状態であることを確認して下さい。
2. 電源コードをコンセントから抜き、両手で本体の後方を支柱側へ持ち上げて下さい。
3. 走行部分を押し上げ油圧シリンダーがまっすぐになるところまでロックさせ、ロックが確実にされていることを確認してから手を放して下さい。
4. 油圧シリンダーの働きにより、本機が自動で折りたたまれます。



折りたたみ解除方法

1. 本体が平らな状態であることを確認して下さい。
2. シリンダーの中心部を軽く足で押しながら解除します。解除した時、本体を軽く手前に引いて下さい。

※解除できない場合は本体を少し押しながら解除して下さい。

3. 手で本体を支えながら、下までゆっくりと降ろして下さい。

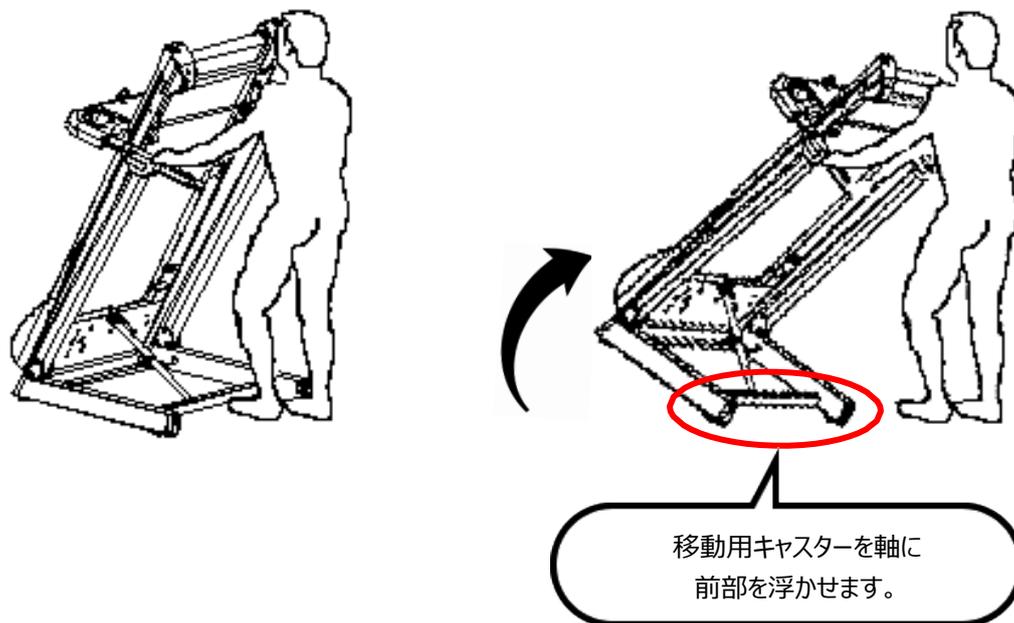
※強く押ししたり、足で蹴ったりすると破損の原因になりますので、絶対にお止め下さい。



中心部分を軽く押すように踏んでロックを解除します。

移動方法

本体を折り畳んだ状態で移動用キャスターを軸に前部を浮かせて傾ける事で、本機を前後移動させることができます。



! 移動を行う際の注意点

- 本機の移動を行う際、必ず床面が平坦であり、障害物が周りにないことを確認してから行って下さい。
- 本機は重量がありますので、床に傷がつくことがあります。移動の際には敷物等をご用意いただき、養生をしてから移動願います。
- 移動用キャスターを軸に移動しないと、本体下のクッションや本体を破損する恐れがあります。十分ご注意下さい。
- 体力等に自信のない方は危険ですので、2人以上で行うことをおすすめいたします。

連続使用時間について

<使用時間を守って下さい！>

本製品を末長くご使用していただくために、モーター保護等の観点から下記に示す使用時間を必ず守って下さい。

- 連続使用時間は **100 分** までです。
 - 次に使用するときには、先に使った時間の **倍以上** のインターバルを取って下さい。
(例：30 分間使用 ⇒ 60 分間以上マシンを休ませる。足元のメインスイッチも切って下さい。)
 - 一日の総使用時間の限度は 6 時間までです。
- ※マシンを長くご利用頂くために、走行板へのシリコンスプレーを噴霧等、定期的なメンテナンスも忘れずに行ってください。

消耗品のご購入

パーツのお求めや修理のご連絡は、大広株式会社までお問い合わせ下さい。

フリーダイヤル：0120-25-1622 携帯電話・PHS:03-5652-5056

受付時間：平日午前 10～12 時ならびに午後 1～5 時まで

トラブルが起きたら

下記のようなエラーコードや症状が起こった場合は、故障と判断される前に下記の点を参考としてお調べください。

エラーコード	意味	内容（対策）
E1	通信不具合	<ul style="list-style-type: none">●パネルと基盤の接続コードに異常がある可能性。●基盤故障の可能性。●パネル故障の可能性。 <ol style="list-style-type: none">1. 一度電源を切って、一定時間を置き再度付け直す。2. コネクターの抜き差し確認。
E2	モーターエラー	モーターに信号が送られていない。 <ul style="list-style-type: none">●モーターとモーター基盤の接続が異常故障している、或いは断線している可能性。
E3	速度センサー 取付不具合	<ul style="list-style-type: none">●速度センサーの取付け異常の可能性。●モーターコードの接続異常の可能性。
E5	電圧不足	不足電圧或いは過電流が生じている。 <ul style="list-style-type: none">●モーター、モーター基盤の不具合の可能性。
E6	ハードウェア過電流	<ol style="list-style-type: none">1. 電流が定格負荷を超えていないか確認。2. コンセントプラグやモーター接続が緩んでいないか抜き差し確認。3. 基盤またはモーターの交換。
E7	セーフティキー 不具合	<ul style="list-style-type: none">●セーフティキー異常の可能性。●パネル故障の可能性。 <ol style="list-style-type: none">1. セーフティキーの差込位置を確認。2. セーフティキーを抜き差し確認。3. セーフティキーの接続コードが抜けていないか確認。4. セーフティキーに破損があるか確認。

故障かなと思ったら

症状	原因	対処方法
動かない パネルが表示しない	<ul style="list-style-type: none"> ① 電源プラグが差し込まれてない。 ② 電源スイッチをオンにしていない。 ③ セーフティキーが外れている。 ④ 接続コネクタが外れている。 ⑤ メインコードが断線している。 	<ul style="list-style-type: none"> ① プラグをコンセントに差し込んで下さい。 ② 電源スイッチをオンにしてください。 ③ セーフティキーをパネルに置いて下さい。 ④ コネクタの接続を確認して下さい。 ⑤ パーツの交換が必要になります。
走行ベルトがあたっている	走行ベルトを調整していない。	走行ベルトを調整して下さい。
急に止まった	<ul style="list-style-type: none"> ① セーフティキーが外れている。 ② ベルトがたるんで空回りしている。 ③ ベルトの摩擦が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ① セーフティキーをパネルに置いて下さい。 ② ベルトを張り直して下さい。 ③ シリコンスプレーを噴霧して下さい。
画面から文字が消えた	<ul style="list-style-type: none"> ① 乾燥した場所等でのご使用の場合、静電気の可能性が考えられます。 ② モーター基盤の故障も考えられます。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 電源を一旦 OFF にしてから、静電気防止スプレー等を走行ベルトやパネル周りに噴霧して下さい。脈拍センサーや液晶付近を触らないようにして運動を行って下さい。 ② パーツの交換が必要になります。
走行中空回りや、一種運 止まったような気がする	<ul style="list-style-type: none"> ① 走行ベルトがたるんでいる。 ② モーターベルトがたるんでいる。 ③ シリコンスプレーの塗りすぎ。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 走行ベルトを調整して下さい。 ② モーターベルトを調整して下さい。 ③ ペーパータオル等で拭いて下さい。
モーターが熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> ① 長時間使用した。 ② 寒さでベルトが縮んだ。 ③ ベルトの摩擦が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 30分以上操作しないで下さい。 ② ベルトをゆるめて下さい。 ③ シリコンスプレーを噴霧して下さい。
本体下に粉が落ちる	<ul style="list-style-type: none"> ① 走行ベルト・モーターベルトがな じんでいない。 ② 靴底のラバーがこすれている。 	走行ベルトが馴染むまでの間は本体の下を定期的に清掃する。
音がする	<ul style="list-style-type: none"> ① ガツキ・キシミ音がする。 ② ローラーから音がする。 ③ ベルトの擦れたような音がする。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 音が出ている箇所を確認し、ネジを締め直して下さい。 ② ローラー軸の部分に機械油を吹き付けて下さい。 ③ ベルトがどこにあたっているかを確認し、走行ベルトを調整して下さい。
コンセントを差し込むと火 花が出る	スイッチが入っている。	スイッチを切ってからコンセントを差し込んで下さい。
走ると「キュッキュ」と音がす る	前ローラー・モーターベルトに埃がたまって いる。	前ローラーの付け根部分にグリス等の機械油を吹き付けて下さい。 モーターベルト、前ローラーを乾拭きして、埃等を取り除いて下さい。

保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品名	ルームランナー（家庭用）DK-B4010
保証期間	ご購入日より1年間
ご購入日	年 月 日
お名前	
ご住所	
T E L	- -

- (1) 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料保証いたします。
- (2) 保証期間内に故障した場合は、本書（もしくは当社から発送した年月日を示す証票）をご提示下さい。
- (3) 保証期間内でも次の場合には保証は受けられません。
 - お買上げ後の移動、落下、転倒等の故障及び損傷
 - 本来の使用目的以外による故障及び損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変・公害・使用環境にともなうサビ・塩害等による故障及び損傷
 - 保管上の不備による故障及び損傷
 - 不当な修理、改造による故障及び損傷
 - 取付場所の床面の損傷
 - 本保証書の添付のないもの
- (4) 使用に伴う消耗品は、無償修理交換の対象になりません。
- (5) 家庭用以外に使用した場合は、無償修理交換の対象になりません。
- (6) 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。
- (7) 保証期間が過ぎた後の故障については有償にて修理交換します。
- (8) 本保証書は日本国内のみ有効です。
- (9) 修理品についての運賃、組み立て、諸費用は原則としてお客様負担でお願いします。
- (10) 本保証書は、お買上げ年月日、販売店名、販売店印が記載されていないと無効です。
ただし、商品をお届けした際の配送伝票控や購入日が証明できるもの等がある場合はその限りではありません。
- (11) 出張修理に関しては、保証期間内でも有償になる場合があります。

フリーダイヤル：0120-25-1622

携帯電話・PHS:03-5652-5056

受付時間：平日午前10～12時・午後1～5時まで

開発販売保守 大広株式会社

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 3-41-4 2F

TEL：03-5652-5056 /FAX：03-5652-5078

受付時間（平日 AM10:00～12:00 PM1:00～5:00）